

月刊 利根日石新聞

第000147号

2009年11月1日創刊 令和3年12月号

発行 利根日石株式会社 TEL 0278-24-1635
本社販売管理課 FAX 0278-23-9980

ENEOS 12月



ちょっと早い挨拶になります
本年も残すところあとわずかとなりました。
今年も大変お世話になりました。心より感謝しております。
来年も本年同様のご愛顧のほど宜しくお願い申し上げます。

スタッフ一同

ある本から「贈り物に込める思い」
日本において、クリスマスは家族や親しい間柄でプレゼントを贈りあったり、サンタクロースが子供達にプレゼントを運んだり、楽しいイベントの一つとして定着しています。

アメリカの小説家であるオー・ヘンリーの短編「賢者の贈り物」はこの時期に相応しい読み物として、現代でも多くの人に親しまれています。

貧乏も慎ましく暮らす夫婦の物語で、妻は夫へのクリスマスの贈り物を買うため、大切にしていた美しく長い髪を切り、売ってしまっています。一方、夫は妻への贈り物を買うために祖父、父、自分へと譲り受けた金時計を売るので、自分の大切な物売ったお金で、妻は夫の金時計に似合う鎖を夫は妻の髪に飾る櫛をそれぞれ贈りますが、結果としてそれぞれ用をなすことになりました。しかし二人は相手を一番に思う気持ちを確認しあうことになったのです。

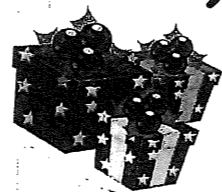
クリスマスには、普段自分を支えてくれている家族に対して感謝の気持ちを込めて、相手が喜んでくれることを祈りますか。◆相手を思う気持ちを伝えましょう◆

「1年で最後のビッグイベント、私は普段お会いする事ができない孫や姪孫に元気に大きく育ってくれるようお願いを込めてクリスマスプレゼントを贈ろうと、今から何を贈ろうかと悩んでいます。」

2021~2022 年末年始の営業時間のご案内

事業所名	12/30(木)	12/31(金)	2022/1/1(土)	1/2(日)	1/3(月)	1/4(火)	1/5(水)
ENEOS DD沼田店 0278-24-1011 (戸鹿野町旧17号)	8:00~20:00	8:00~19:00	休業	9:00~18:00	9:00~18:00	8:00~19:00	通常営業 7:00~20:00
ENEOS DD沼田インター店 0278-24-2345 (上原町R120号)	8:00~20:00	8:00~19:00	休業	9:00~18:00	9:00~18:00	8:00~19:00	通常営業 7:00~20:00
ENEOS DD茨川先の顔店 0279-23-8122 (金井南町交差点)	8:00~19:00	8:00~19:00	休業	9:00~18:00	9:00~18:00	8:00~19:00	通常営業 7:30~20:00
ENEOS 馬喰町SS 0278-22-2027 (上之町交差点南)	8:00~19:00	8:00~18:00	休業	休業	休業	9:00~18:00	通常営業 7:30~19:00 日曜日 第2第4土曜休業
ENEOS 沼田インター西SS 0278-24-8111 (桜町R120号)	8:00~19:00	8:00~18:00	休業	9:00~18:00	9:00~18:00	9:00~18:00	通常営業 7:30~20:00
ホームエネルギー課 0278-24-1635 (燃料配達・LPガス)	休業	休業	休業	休業	休業	8:00~17:00	通常営業 8:00~17:00 (日曜定休)
ペントリー沼田店 0278-60-2620 (戸鹿野町旧17号)	休業	休業	休業	休業	休業	8:30~17:30	通常営業 8:30~17:30

※全営業所とも29日までは通常営業です。尚、セルフ沼田バイパス店は年末年始も通常通り24H営業(am3:00~4:00は休憩)ございます。
※灯油等燃料の配達営業は年末29日まで、新年は4日より通常営業となります。休業日に配達や作業など必要な場合には事前にご連絡下さい。



年末年始は大変混雑しますので配達の遅延が生じる恐れがあります。余裕を持ったご注文をいただきますようお願いいたします。



どうにか安くならないか? 石油製品

先月号で、原油高騰の理由と今後について書きましたが、その後、政府が原油高騰への対応策を2つ発表しました。ひとつ目はガソリンを始めとする石油製品への補助金です。これは販売価格の全国平均が170円を超えた場合に最大5円/リットルまで国がメーカーに対して補助金を支給することで、高騰を和らげようというものです。ちなみに現在の全国平均価格は、レギュラーガソリンで168.7円で前週比+0.2円の値下げとなっています。(1/2付 エネ庁発表)

政府が発表した対策の2つ目は、国家備蓄の放出です。これは紛争や災害時に国内の原油が不足しないように、オイルショック以降国が始めた備蓄原油を一部放出することで、市場の需給バランスを緩和させて原油価格を引き下げようというものです。アメリカが日本の他、中国やインド、韓国やイギリスにも呼びかけて、各国が同時期に放出することで国際的により大きな効果に繋げようとしています。

この2つの対応策、筆者はどちらも「微妙」な感じがします。

微妙な理由 その1: 正当性が微妙

補助金はそもそも、石油製品にだけ出していいんでしょうか? そもそも消費者から一番遠いメーカーに? ならば、今後は例えば天候不順で野菜が高騰した時に農家さんにも補助金出すのでしょうか? 国家備蓄は石油備蓄法という法律のもと、管理されていてその放出は産油国の紛争や、災害時等に限定されており、価格を引き下げる為の放出は認められていません。それをアメリカからの要請に基づいて法律に抵触しないごく一部を放出するとのこと。それって、どうなんですか?

微妙な理由 その2: 実効性が微妙

補助金のニュースを見た最初の印象は「え? たった5円!?!」でした。上述のとおり、全国平均は現在168.7円ですが、最安の埼玉県が163.3円に対して最高の長崎県は176.9円です。その差13円あるところで、最大5円と言われても…。しかも、メーカーに5円支給したところでメーカーは各スタンドに5円下げるよう要請は出来ません。例えば利益を削りながら値上げを据え置いてきたスタンドは、丸々5円下げることは難しいでしょう。

では、どうしたらいいか? 筆者は「トリカ条項」の凍結を解除する事が最善の対策だと思います。トリカ条項とはそもそも今回のように原油が高騰した時に国民負担を軽減する為、一定条件が満たされた(全国平均が3ヶ月、160円を超えた)場合に、一時的にガソリン税の一部(25.1円)を徴収しないようにするもので2010年に成立しました。ところが、その翌年、東日本大震災の発生により、復興財源を確保する為に一時的に凍結されてしまいました。そこから10年経ち、日本は「復興オリンピック」を開催できるまでになったのだから、凍結を解除すべきだと思います。正当性も実効性も、よほどこちらの方があります。法案可決までに時間がかかると仰る議員さんはいらっしゃいますが、それこそ与野党が国民生活を守るために一致団結すれば良いのではないのでしょうか?

とはいえ、この原稿を書いている11月下旬のこの数日、俄かに「オミクロン株」なる新たな変位株が出てきて世界経済を脅かしたり、12/2のOPEC閣僚級会合があったり、本格的な寒波の到来が心配されたり、ともう暫くは、国際情勢や気候の変化で変動する原油価格に翻弄されるでしょう。